

## 目次

- P1 …新センター長ご挨拶  
 P2・3 …センター内の安全を守っていくために  
 P4 …センター紹介【ディケア】



カラフルとは、個性豊かな子ども達がその子らしく過ごしていくことや、時には他の色と混じって新しい色をつくりあげていくことを表現しました。

## 新センター長ご挨拶

## 「子ども・家族に向き合い、寄り添うこと」

三重県立子ども心身発達医療センター長 中西 大介



2017年6月の開設以来、センター長を務められた金井剛先生にかわり、本年4月からセンター長に就任いたしました、中西大介です。

『子ども一人ひとりが、その子らしく豊かな人生を送るために』は、当センター開設以来の基本理念です。子ども中心であること、一人ひとりの違いに丁寧に向き合うこと、その子の「人生」や「そだち」を思い描きながら治療を行うこと、その三点を職員一同が常に念頭に置き、日々、子どもたちや家族に向き合い、寄り添いながら業務にあたっています。

社会の情勢や構造は目まぐるしく変化し、子どもたちを取り巻く環境も大きく変わってきています。多様性が尊重され、これまで弱い立場に追いやられてきた人たちに、少しずつ光が当たるようになってきましたが、依然として自身の置かれている状況や、本来は受けられる支援に気づくこともできず、困難を抱え続け、自身を責め続けている子どもたちに出会うことも少なくありません。

歴史を振り返ってみると、そうした子どもの存在や課題に、社会がようやく向き合えるようになったのだとも言えます。ただ、これまでの社会の仕組みや、一個人、一機関の力では、困難を抱える子どもやその家族、子どもを取り巻く地域を支えることが限界に達してきているのも事実です。

開設後当センターは、三重県における子ども臨床の拠点としてより適切に機能できるよう、地域で果たす役割について、見直し検討を重ねてきました。その中で、「子ども中心」という考えに加え、「専門病院としての役割を改めて見直し強化する」「県民にできる限り平等なサービスを提供できるよう、地域を支援し地域を育てること」に重点を置き、取り組みを進めてきました。

今後、当センターが拠点としての役割を果たすには、これまで以上に、地域で子ども臨床に携わる方々との連携を拡充していくことが重要になると考えています。従来から実施している専門職員の地域への派遣に加え、2020年度からは地域の小児科医向けに発達障がい連続講座を開催し、2021年度の秋からは、実際に相互的な連携も開始しています。今後も拡充を図り、地域の子もたちが平等にかつ必要な時に、より身近な場で支援や治療を受けられるよう取り組んでいきます。

あすなる学園の第三代園長である清水将之先生は、「子どもが育つ」プラットフォームを成立させるには、医療だけでなく、保健、福祉、教育の協業が不可欠であるとして、子ども臨床という概念を提唱されました。また、折に触れ、子ども臨床の大前提は、「世の中が平和であること」と述べられています。

子どもたち一人ひとりが、その子らしく彩られた人生を歩むことができるよう、限られた時空間の中で私たちに何ができるのかを常に考えながら取り組みに当たっていきたくと考えています。カラフルな子どもたちが、カラフルな人生を、安心して歩めることを切に願います。

# センター内の安全を守っていくために

## ～医療安全管理室の取り組み～

医療安全管理室では、入院および通院中の子どもたちが安心して治療に専念できるよう、医療安全や感染対策の体制強化に向け様々な取り組みを行っています。感染管理担当看護師1名を含む2名の看護師が日々センターの安全管理を担っています。

医療安全、感染対策、褥瘡対策等の委員会をとりまとめ、それぞれの委員会活動が円滑に運営できるよう指揮・調整を行っています。今回、センターにおける医療安全・感染対策の活動の様子をお知らせします。

### 医療安全活動

医療安全管理室には各部署から日々、ヒヤリハット報告(※)や時に事故報告が報告されます。報告をもとに月1回各部署から集まったリスクマネジメント部会の委員の皆さんと報告の共有や分析を行い、全職員に分析結果を周知して再発防止に努めています。ヒヤリハット報告の内容を報告共有しあうことで、危機を疑似体験し再発防止や事故を未然に防ぐことができます。ヒヤリハット報告は医療安全の取り組みの中でも重要な報告であり、計画(PPLAN)し、実行(DO)し、評価(CHECK)して、改善(ACTION)するPDCAサイクルを活用し、センター内の安全活動を進めています。

(※)ヒヤリハット:事故の可能性はあったものの、大きな事故にはならなかった事例

### 医療安全ラウンド

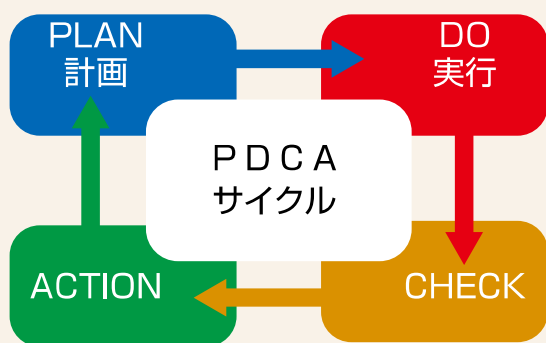
毎月、委員とセンター内のラウンド(巡回)を行い、5Sに取り組んでいるか確認を行い、安全で働きやすい職場環境を目指し活動しています。ちなみに5Sには整理・整頓・清掃・清潔・しつけといった意味があります。

### 医療安全防止対策啓発のためのニュース発行

毎月各部署の医療安全担当職員が趣向を凝らしながら、職員が医療安全対策をしっかり共有することができるような情報提供を心掛けています。

### 医療安全研修

年2回医療安全に関する研修を企画・開催しています。コロナ禍で沢山の人が集めての集合研修が難しいため、ここ2年間は録画視聴での研修を開催しています。



倉庫内の安全を確認中

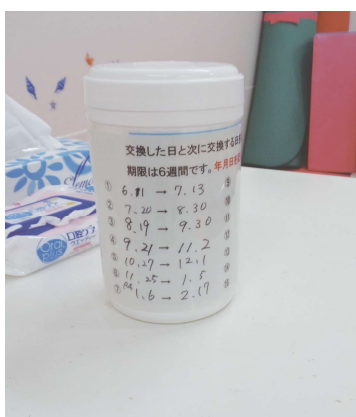
## 感染対策に関する活動

医療安全管理室には感染管理担当看護師1名が配属され、センター内の感染に関する相談や感染対応に関する指揮をとっています。感染症は感染場所により、市中感染と医療関連感染(HAI)に分類されます。①「もちこまない」市中感染をセンター内にもちこまない。②「ひろげない」センター内の感染対策の不備によってHAIをおこさない、この2点が感染対策の柱となります。

特に新型コロナ感染症対策については、センター全体での対策、それぞれの部署での対策、個人でできる感染防止対策を徹底し、安心して治療に専念できる環境を整えています。センターを利用する子どもたちが安全に治療や支援を受けてもらえるようにすることが主な目的にはなりますが、支援する職員も安心して働くことができるよう取り組みを進めています。



感染対策の研修会



環境整備 大事です



フェイスシールド、ガウン、キャップで感染防護



ゲーム大会感染対策して実施しました



日付記入もばっちり



リモートも活用

### ※感染関連用語ミニ知識:HAI

以前は病院内で起こった患者や医療従事者の感染を院内感染としていました。しかし近年は在宅医療、長期療養施設など院外で行われる治療も増え、それに伴う感染も増加してきました。すべてを総称し医療関連感染(HAI)とよんでいます。



デイケアでは小学校高学年～高校生年代の子どもを対象に、個々に応じた療育プログラムの提供を行っています。子どもたちは様々な集団での活動を通して、対人関係技術 / 社会生活技術の習得をめざします。ご家族・学校とも連携を図り、デイケアで身に着けた技術を地元や地域で発揮できるよう、環境を整えるサポートも行います。

## 【 教えて！デイケアさん!! 】

**デイケアさん**

デイケアは人と関わったり、コミュニケーションの練習を行うところだよ。みんなの好きなことも取り入れるよ。

？

デイケアさん、あすなる先生にデイケアを勧められたけど、デイケアってどんなところ？

**デイケアさん**

じゃあ、ゲームとか運動もするの？勉強はしっかりすると思ってる。ちょっと楽しそう。

活動内容はみんなの意見も聞きながら、職員さんが考えてくれるよ。楽しみながら人との関わりを覚えてね。

この子の母です。デイケアで他じこのようなことをしてもらえますか？

**デイケアさん**

ご家族のお話を聞かせてもらったり、学校と連携を図りながら、お子様に合った人との関わり方の練習を考えていきます。

開始にあたっては主治医の診察で決まります。はじめはデイケア棟の見学に来ていただき、雰囲気味わってもらおうことがほとんどです。ぜひ一度見学に!!



活動内容は

- ★ 運動 (風船バレー グランドゴルフ 等)
- ★ 集団活動 (SST ボードゲーム 等)
- ★ 集団作業 (園芸 調理 販売練習 等)
- ★ 個別活動 (アイロンビーズ 手工芸 等)



お子様やご家族、主治医、学校等地域機関の方々と随時情報を交換しながら、お子様が家庭・学校・地域で安心して過ごせるように努めます。



## 【 利用者の声 】



デイケアは最初緊張しましたが、続けて通うと友だちができて、楽しくなってきました。



職員さんが悩みを聞いてくれます。職員さんに相談し、少しずつ学校に通えるようになりました。

### 広報委員より

本年4月、新中西体制がスタートしました。職員一同、改めて子ども・家庭に寄り添った医療提供に向け頑張ります。

広報委員 (西井・嶋田・川口・田口・板崎)

### 三重県立子ども心身発達医療センター

〒514-0125 三重県津市大里窪田町340番5  
 電話 059-253-2000 (代)  
 FAX 059-253-2031  
 URL <https://www.pref.mie.lg.jp/CHILDC/>

